

別添 12 災害発生時の役割分担

1. 道の駅に期待される防災機能

本道の駅は、道の駅の基本機能である休憩機能、情報発信機能、地域連携機能のほか、「防災機能」として以下の役割が期待されている。

【平常時】

防災設備の維持管理

防災訓練等の実施

【災害発生時】

物流拠点

広域防災拠点(自衛隊・警察等) (※防災道の駅の指定を受けた場合)

一時避難スペースの提供

2. 災害発生時の事業者による対応の流れ

大規模な災害が発生した場合、事業者は事前に作成した災害対応マニュアルに基づき、初動体制を確立する。

施設や施設利用者の被害状況等を確認し、市へ報告を行う。

帰宅困難者や一時避難者がいる場合には、近隣の指定避難所の案内や一時待機スペースを提供する。

市から事業者に対して、物資集積スペースの提供依頼があった場合には、当該箇所のスペースを確保する。

3. 災害発生時の本市及び事業者の役割分担

本施設内で想定する本市及び事業者の役割分担は次の表のとおりを予定している。詳細については、市と事業者で協議の上、決定する。

役割	本市	事業者
施設の被災状況等の把握・点検	△	○
施設利用者の安全確保・避難誘導	△	○
施設利用者への災害情報提供	△	○
施設の被災状況等の報告	△	○
物資受入場所の確保	○	△
物資の受入れ・仕分け	○	△
車中避難者等への物資の提供 (※)	○	△

(平常時)防災施設・設備の維持管理	△	○
(平常時)災害対応マニュアル・BCP の作成	△	○
(平常時)防災訓練・救命講習等	△	○
(平常時)危険箇所の確認・チェックリスト作成	△	○

○：主担当 △：協力・支援

※物資の提供等の協力については、事業者負担のない範囲で市に協力を行うものとする